

令和5年6月8日 開会

令和5年 第2回 東松島市議会定例会

# 議員一般質問通告書

東松島市議会

《 議員一般質問 目次 》

順位	氏名	件名	頁
第1位	井出 方明	1 観光振興について	1
		2 松島基地との共存共栄について	2
		3 危機管理について	3
		4 復興施策について	4
第2位	熊谷 昌崇	1 中学校入学祝の運動着について	5
		2 e L-Q R (エルキューアール) を利用した納付方法の拡充について	6
第3位	五野井敏夫	1 災害避難対応について問う	7
		2 市有林の現状と今後の利活用はいかに	8
第4位	石森 晃寿	1 市営住宅（災害公営住宅含む）の払い下げ及び跡地利用について	9
		2 マイナンバーカード交付対策について	10
		3 新型コロナウイルス対策について	11
		4 看護師・介護福祉士等の確保について	12
第5位	千葉 修一	1 旧国道商店街と空き店舗対策について	13
		2 消防団の在り方について	14
第6位	土井 光正	1 子育て応援を充実し人口減少に歯止めを	15
		2 多様化する社会の中で市民サービス向上の取組を	16
		3 タイムカプセル「未来への伝言」の開封を検討せよ	17

第7位	櫻井 政文	1	津波避難計画の改定について	18
		2	アフターコロナを見据えた施策はいかに	19
		3	L G B T理解増進法について	20
第8位	手代木せつ子	1	市内海水浴場の今後について	21
		2	本市のスポーツ振興について	22
第9位	齋藤 徹	1	文化財を通じた交流人口の拡大と地域保全を	23
		2	良質で安価な住宅地提供の早期実現を	24
第10位	阿部 秀太	1	安全・安心な学校給食への取組によるまちづくりについて	25
第11位	大橋 博之	1	婚活プロジェクトを強化せよ	26
		2	シティプロモーションを確立せよ	27
		3	野蒜海水浴場について問う	28
第12位	浅野 直美	1	女川原子力発電所再稼働に伴う核燃料税交付金と安全対策について	29
		2	本市の基幹産業への支援について	30
		3	子育て世帯への支援体制強化と虐待防止について	31
第13位	小野 恵章	1	自転車のヘルメット着用の啓発、浸透を図れ	32
		2	矢本駅周辺の振興策を問う	33
		3	D X推進体制の構築の進捗状況はいかに	34

【質問者数 13人・質問件数 34件】

氏 名	件 名	要 旨
<p data-bbox="177 315 276 353"><u>第1位</u></p> <p data-bbox="209 416 244 501">井 出</p> <p data-bbox="209 564 244 649">方 明</p>	<p data-bbox="312 315 549 398">1. 観光振興について</p>	<p data-bbox="596 315 1423 398">(1) 世界の持続可能な観光地トップ 100 に選定されたが、その効果及び今後の取組みについて問う。</p> <p data-bbox="596 439 1423 521">(2) 松島を訪れる観光客の一部を東松島に呼び込むための具体的方法について問う。</p> <p data-bbox="596 562 1302 600">(3) 観光 DX に関する具体的施策について問う。</p> <p data-bbox="1046 714 1410 752" style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第1位</p> <p>井出方明</p>	<p>2. 松島基地との共存共栄について</p>	<p>(1) 航空祭、夏祭り以外での交流についての考えを問う。</p> <p>(2) 今後の基地対策（民生安定等）事業の推進計画について問う。</p> <p>(3) 人口減少の中においても松島基地には毎年 50 名程度の新隊員が転入してきている。 これらの隊員を東松島市に定住させる方策等について問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第1位</p> <p>井 出  方 明</p>	<p>3. 危機管理について</p>	<p>(1) 立派な防災マップを作成されたが、常時携帯出来るものではない。デジタル化して携帯のアプリとして運用する考えについて問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第1位</p> <p>井 出 方 明</p>	<p>4. 復興施策について</p>	<p>(1) 「青い鯉のぼりまつり」は全国版でも報道され取り上げられ始めた。市として今後関与していく施策について問う。</p> <p>(2) ハード面における復興は終わったと言っているが、取りこぼしている事業について問う。</p> <p>(3) 東矢本駅は地元が建設費を全額負担して建設された請願駅であり、震災前までは快速電車も停車していた。人口の密集しているこの地域において快速電車の停車が必要と考えるが市長の考えについて問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>熊谷昌崇</p>	<p>1. 中学校入学祝の運動着について</p>	<p>昨年秋ごろ、目安箱に、なぜ中学校で使用する正規の運動着を配布しないのかという旨の投書があり、議会としては投書があるまで、中学校入学記念品（夏用運動着）は学校指定の運動着を配布しているものと思料していた。</p> <p>その後、別途中学校指定の運動着の購入が必要という内容の保護者あての文書を確認した。中学校指定の運動着を配布すれば保護者の経済的負担軽減につながるものと思料していたが、中学校の指定した運動着ではない。</p> <p>そこで、中学校入学記念品はどのような経緯で決定されたのかを伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>



氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>熊谷昌崇</p>	<p>2. eL-QR (エルキューアール) を利用した納付方法の拡充について</p>	<p>「地方統一 QR コード」(eL-QR (エルキューアール)) を利用した納付方法を令和5年4月から石巻市、大崎市、美里町等の周辺自治体の多くで導入している。全国で4月から導入された納付方法なので、市民の理解も少ないと思う。</p> <p>そこで、納付方法によっては、クレジットカードのポイント還元等により、納税者の利益にもつながり、周知の仕方によって納税率の向上にもつながると思料する。そこで、新規の納税方法でもある為、周知徹底を行うべきではないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>1. 災害避難対応について問う</p>	<p>先に国が示した北海道東方、東北三陸沖地震により予想される大津波情報を受けて作成された防災マップが、各家庭に配布された。内容としては、様々な情報が記載され素晴らしいものだ。災害時の避難経路等の確保や避難所の確認も安全確保に役立ててほしいと思う。</p> <p>また、災害時の避難時の原則、徒歩避難から場合によっては車での避難も必要との見解を市長が述べていることから、今後の対応として、中でも避難道路の整備が必要と思われる。</p> <p>よって以下の点について伺う。</p> <p>(1) 広域避難場所とされている鷹来の森運動公園への車での移動経路は、現在では県道小野停車場線のみとなっており、拡幅整備を県に要望し対応しているがそれだけで十分か。この際、市道鷹ノ池前柳20号線を拡幅整備して、途中から運動公園まで延伸させ、避難経路の複数化に努めてはいかかが。</p> <p>(2) 地域避難所、地区避難所として指定されている施設で津波、洪水時に使用不可とされる地域の避難先をどう確保し対応するのか。</p> <p>(3) 災害時には、避難経路の電気照明等の停電が予想されるが、様々な危険回避にはどう対応するのか。</p> <p>(4) 津波浸水域とされる地域には、通常海拔位置表示と被災予想最大水域の予想浸水表示を各所に設置し、安全対策への確保のための参考表示とすべきと思うがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>2. 市有林の現状と今後の利活用はいかに</p>	<p>本市の滝山には、市有林が植栽され約70年も経過し立派な成木となっていると聞き及んでいる。私の記憶の中では、植林当初は、当時の町職員が下草刈りや枝木の伐採等の管理を行っていたということだが、最近では森林組合に管理を委託していると聞いている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 市有林の現状と管理状況はいかに。</p> <p>(2) 成木化した立木の将来の利用の目途はいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第4位</p> <p>石 森  晃 寿</p>	<p>1. 市営住宅(災害公営住宅含む)の払い下げ及び跡地利用について</p>	<p>本市では、指定管理者制度により東松島みらい都市機構に、市営住宅(災害公営住宅含む)の管理運営を行うなど経費の縮減について、日々努力していると思われる。</p> <p>しかし、老朽化して、耐用年限を過ぎた住宅については、居住している方を積極的に、他の市営住宅に移動し、解体、跡地利用を考えることが重要である。特に解体後の跡地が市街化区域内にある場合は、上下水道、道路、区画の整備をして、移住・定住促進の受け皿にすべきと市長は考えているのではと思う。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 災害公営住宅の払下げの進捗状況は。</p> <p>(2) 市営牛網別当住宅の入居者の移転、解体、跡地の民間への払下げ計画の進捗状況は。</p> <p>(3) 北浦アパートの入居者の移転、解体、跡地利用計画の進捗状況は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>2. マイナンバーカード交付対策について</p>	<p>本市では、令和5年2月を「マイナンバーカード取得促進強化月間」と位置づけ、交付対象者の拡大を図った。マイナンバーカードが交付されることにより、マイナポイントの特典や、将来的には健康保険証のほか、市民の利便性の向上につながると、私は考えている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) マイナンバーカードの交付率は。</p> <p>(2) マイナンバーカードの交付率が全国「上位3分の1」以上の市町村に普通交付税の算定に反映するとのことだが、本市は該当するのか。</p> <p>(3) マイナンバーカードを申請し、交付を受けない方の対応策は。</p> <p>(4) マイナポイントの申請期限が9月末まで、延長されているが、申請状況は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>3. 新型コロナウイルス対策について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日から感染症法上の位置づけが「2類」から「5類」に移行されたことに伴い、市民の関心が、希薄になっているように感じる。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスは、弱毒化しているわけではない。</p> <p>また、最近感染者が増加傾向にあるデータも出てきている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種券を、世帯単位で発送すると、ワクチン接種の予約及び接種が円滑にいくと思料するが検討する考えは。</p> <p>(2) ワクチンの接種率は。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症の感染者数は、5類移行後どのようになっているか。</p> <p>(4) 新型コロナウイルスに感染した場合の、市民の医療の確保は万全か。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>4. 看護師・介護福祉士等の確保について</p>	<p>本市も超高齢化社会が進み、医療や介護の現場では、市民のニーズに応えるべく、看護師・介護福祉士等の確保に努めている。</p> <p>しかし、看護師・介護福祉士等の不足は、行政側もサポートする必要がある。主なサポートとしては、学びの場の誘致、奨学金返還金に対する支援、移住・定住促進のための安価な住宅地等の確保などが考えられる。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 学びの場の誘致としては、市内の高等学校に看護科、福祉科を設置できるように、市内の公立高校及び、私立高校と協議し実現する考えは。</p> <p>(2) 東松島市奨学金返還支援事業助成金制度の助成対象者を拡充するために、市外事業所を有する事業主に正規雇用されている看護師等も対象にする考えは。</p> <p>(3) 看護師・介護福祉士等が、新築住宅を市内に検討している場合は、市営住宅跡地の宅地を優先的に有償で提供する考えは。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>千葉 修一</p>	<p>1. 旧国道商店街と空き店舗対策について</p>	<p>商店街の衰退を象徴する現状として、しばしシャッター通りと言われることがあるが、本市でも多くの商店街でシャッターをおろした空き店舗が見受けられ長年課題になっている。旧国道商店街と空き店舗対策について伺う。</p> <p>(1) 店主の高齢化が進み事業承継も中々進まないことから、空き店舗は今後も増加すると考えるが対策を伺う。</p> <p>(2) 道の駅の計画により、既存の商店街への客足の変化もあると思うが考えを伺う。</p> <p>(3) 都市計画道路矢本門脇線等の開通により国道45号の交通量の減少が考えられるが商店街への影響は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>



氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>千葉 修一</p>	<p>2. 消防団の在り方について</p>	<p>消防団とは、市町村に設置される非常備の消防機関で、一般市民により構成されています。消防団の皆様は、他の本業を持ちながら自らの地域を自ら守るという精神に基づき、消防活動にご尽力いただいている。</p> <p>しかし、近年全国的な傾向として、団員の減少等が課題となっている。また、団員の方々から現代に即した団員の在り方について考えてほしいという声もあることから、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本市の団員数とその推移は。また昼間に市外に働きに出ている団員と市内に居る団員の割合を伺う。</p> <p>(2) 災害が発生した際、避難指導や情報収集など機能に応じた機能別消防団員を構成しているが、それに合わせて女性団員の募集は考えているか伺う。</p> <p>(3) 本市職員による消防団組織を構成する考えはあるか。</p> <p>(4) 制服、詰所など現代に即した機能にすることは考えているか伺う。</p> <p>(5) 本市内の企業からの消防団員数を増やす考えはあるか伺う。</p> <p>(6) 今年3月に、特別表彰まといが授与され、表彰の中で最高の栄誉とされている。それに対して特別手当は考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>1. 子育て応援を充実し人口減少に歯止めを</p>	<p>今年度の大塩小学校入学児童は9名とこれまでに無い少人数であった。昨年度の本市の出生人口は227人と10年前に比べ106人少なく約32%の減少となっている。この傾向が続くと「東松島市人口ビジョン・第2期総合戦略」の目標値には到底達成できない状況であると考えている。又、今年の二十歳を祝う会の成人者数は対象者476人でしたが20年後には半数以下となる。これらのことから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 大塩小学校については、「東松島市学校施設長寿命化計画」において令和10年度から改修工事が予定されているが、計画時の児童数160人から76人と53%の減少となる。 子育て応援の観点から小学校自体をどのような体制としていくべきであると考えているのか伺う。</p> <p>(2) 公明党は、昨年11月に「子育て応援トータルプラン」を発表し、「子どもの幸せを最優先する社会」をめざして結婚、妊娠・出産から子どもが社会に巣立つまでライフステージや子どもの年齢などに応じた切れ目のない支援策の充実に取り組むこととしている。 そこで、結婚の希望をかなえるために本市でも東松島市、東松島婚活プロジェクトが主催で婚活パーティ等を行っているが、更に、各自治体で成果が上がっているAI婚活アプリ等の導入による取組の考えについて伺う。</p> <p>(3) 結婚新生活支援事業補助金制度について、所得制限で対象から外れてしまうケースがあり、本市で所帯を持つ魅力がなくなっている。共稼ぎ世帯が普通となりつつある実態を考慮し、国の補助から外れた世帯を対象に所得制限を緩和した市独自の制度を検討していくべきと考えるが如何か。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>2. 多様化する社会の中で市民サービス向上の取組を</p>	<p>長引くコロナ禍やロシアのウクライナ侵略等の影響により、目まぐるしく変化する社会の中で市民生活も疲弊化しつつある。このような中で喫緊の課題として捉えなくてはならない。</p> <p>以下の点について伺う。</p> <p>(1) 一人暮らしの高齢者等で調理が困難な方を対象に、栄養バランスのよい食事をお届けし、在宅での生活支援と日々の安否確認のための配食事業の実施について、令和4年2月議会で質問しているが検討状況を伺う。</p> <p>(2) 長引くコロナ禍によるストレスなどや免疫力の低下により帯状疱疹の罹患者が増加傾向にある。ワクチン接種推進については、市報で掲載され、病院等で掲示、又、テレビCM等でも放送されているが、接種費用が高いので接種を断念している人も多いと聞く。令和4年6月議会でワクチン接種補助について質問しているが対応の検討状況を伺う。</p> <p>(3) 女性のがん患者で一番多いのが乳がんと言われ40歳代から上昇傾向にある。治療により外見の変化に悩む若年がん患者の心理的負担を軽減し、治療と就労など社会参加の両立を支援する為に、乳房切除後の胸の形を整える人工乳房、補正下着の補正具を助成すべきと考えるが如何か。</p> <p>(4) 近年、高齢男性で前立腺がんやぼうこうがんの患者が増えている。治療後も頻尿といった症状が残り、尿漏れパットなどの利用者も多いと聞き及んでいる。本市は誰もが安心して外出できる社会環境を目指すべきであり、公共施設の全ての男性用トイレにサンタリーボックスを設置すべきと考えるが如何か</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井光正</p>	<p>3. タイムカプセル「未来への伝言」の開封を検討せよ</p>	<p>昭和61年(1986年)3月に旧矢本町、赤井村、大塩村が合併し新生矢本町となって以来30年を迎えた3月31日に滝山に「未来への伝言」と称したタイムカプセルを埋設するイベントがあった。現在もその場所のみかげ石の銘板には、「町民総参加のもと、現在の姿を未来に伝えるタイムカプセルをこの地に埋設する。尚、カプセルは合併100周年にあたる2055年5月3日に開封し、収容物を十分活用して貰うことを希うものである」と記載されている。開封はあと30年以後となるが、当時携わった多くの方から、これまでの37年間は激動の変化の時代だった。カプセルの埋設さえ忘れてしまった方も多く、現在の市職員もほとんどの方が知らない世代となった。碑文にもあるとおり収容物を十分活用して貰うことを希うとあることから、30年後の開封日を待たずに開封を検討すべきと考えるが如何か。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>1. 津波避難計画の改定について</p>	<p>本年3月、東日本大震災12年を契機に各自治体では、予想される”最大級の津波”からどのように安全に避難すべきか、逃げ遅れなど現実的な防止策を検討していると聞いている。</p> <p>宮城県の新たな想定では、12年前と比べ本市の場合は浸水域が1.3倍になると言われている。市はこれらを踏まえ、避難場所まで1kmを超える住宅地域を「避難困難区域」に指定する考えを表明したが、次について伺う。</p> <p>(1) 同計画を今秋にも改定するとしているが、そのランドデザインについて</p> <p>(2) 予定される避難計画では車の利用を認めているが、東日本大震災では車で避難中に渋滞に巻き込まれ、死亡した例もある。既存道路の拡幅を進めるとの事であるが、その計画について</p> <p>(3) 市はこの程「防災マップ」を制作し、防災のあり方を示したが、今後、改定する避難計画を住民に直接、説明する考えはあるか、あるとすればいつの時期か。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>2. アフターコロナを見据えた施策はいかに</p>	<p>新型コロナウイルス感染症は、日本の社会や経済に前例のない混乱と低迷をもたらした。外出自粛による高齢者のフレイルのリスク増大、産業分野では飲食業、宿泊業、旅行業、イベント業等、多くの業界の経営が圧迫され、企業収益の減少により人々の雇用や所得が減少した。</p> <p>また、教育分野においては、スポーツ・文化大会中止による活躍の場の喪失、こどもの体力低下、家庭の収入減少による教育格差の拡大等、多大な問題が生じた。</p> <p>一方、テレワークの普及による働き方改革、また、教育現場ではオンライン教育が充実してきている。</p> <p>以上のように新型コロナウイルス感染症は、社会のシステムや人々の生活に大きな煽（あお）りを及ぼしてきたが、幸いなことに現在は収束に向かっている。そこでアフターコロナに向けた施策の方向性について伺う。</p> <p>(1) 高齢者のフレイル予防策について</p> <p>(2) 市内中小企業の活性化と人材育成について</p> <p>(3) こどもの体力向上策について</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長・教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>3. LGBT理解増進法について</p>	<p>先日、与野党はLGBT理解増進法案を国会に提出した。マスコミはこの法案を表面的にしか報道をしないので、この法案の内容を知らない国民も多い。実はこの法案は女性と子どもの権利や人権、また、安全性を守れない危険な法案であると考えます。</p> <p>日本をLGBT後進国のように語る人がいるが、日本の歴史を見れば性的少数者に関して比較的寛容で差別のない国であることが理解できる。また、日本国憲法第14条は「すべての国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会身分（中略）において差別されない」と規定されている。</p> <p>今後、この法案が成立すれば、新たな差別や社会の分断を招き、教育現場は混乱をきたすだろう。</p> <p>そうならないためにもこの法案の問題点に真摯に向き合う必要があると思料する。この法案に対する見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長・教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>1. 市内海水浴場の今後について</p>	<p>風光明媚な本市には、現在2カ所の海水浴場がある。入り江になって波も静かな月浜海水浴場と昔から知られている野蒜海水浴場である。特に東日本大震災の影響で2010年の夏以来閉鎖していた野蒜海水浴場は、昨年12年ぶりに海開きを行った。今年も海開きを控え、楽しみにしている方々も多いと推測するが、以下について伺う。</p> <p>(1) 昨年の月浜海水浴場と野蒜海水浴場の当初見込み人数と実際の入込み人数等、既に検証済と思われるが、その結果をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 野蒜海水浴場に隣接するビーチコートにおいて、どのような大会が行われたのか。</p> <p>(3) 昨年、「世界の持続可能な観光地 TOP 100選」にも選ばれた。豊かな自然と観光資源に加え、海水浴場の再開は地域の再生と賑わいの復活を後押しするものと思われるが、今後市内の海水浴場をどのように活用していくのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>



氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>2. 本市のスポーツ振興について</p>	<p>令和2年に東京オリンピックの聖火到着を記念し、「スポーツ健康都市」を宣言してから早くも3年が経過した。先月、コロナ禍のもとではあったが感染対策を行い、市内各小中学校において大運動会が開催された。久々に多くの家族の応援をもらい児童生徒たちの生き生きとした姿を見せて頂いた。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 全ての市民が生涯にわたり、身近にスポーツを楽しむ、愛し、親しみ、交流の輪を広げ、笑顔あふれる健康で元気なまちを目指し「スポーツ健康都市」を宣言してからの成果をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 中学校には中体連がありスポーツの得意な生徒たちの競技を競う機会があるが、小学校においては各学校内でその雄姿を見せるだけである。勉強は若干苦手であるがスポーツは得意であるという児童も多いと思われる。 そこで、「東松島市立小学校オリンピック競技大会」を開催し、児童たちの逞しく、生きる力を発掘してはどうか。</p> <p>(3) 市民の年代層毎に競技を検討し、東松島市民運動会を開催してはどうか。 8月の夏祭り、10月の市民運動会、11月の産業祭と、「東松島市三大祭り」という歴史を作っていくのも良いのではないかと。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>1. 文化財を通じた交流人口の拡大と地域保全を</p>	<p>2020年に予定されていた縄文シティサミットが、コロナ禍のため中止となったが、今年度秋に開催される。本市が抱える国指定史跡 里浜貝塚、赤井官衙遺跡群といった歴史や文化財、本市自体をPRする良い機会である。サミット以降の本市の文化財の保護や環境整備について以下に問う。</p> <p>(1) 縄文シティサミットは歴史ファンをはじめとして本市のPRには重要なイベントであると思慮するが、今後の観光政策へどのように繋げて行くのか。</p> <p>(2) 赤井官衙遺跡群では、ほ場整備事業に伴う発掘調査の折、埋蔵文化財の出土が確認されている。一方この地域は、市街化調整区域、農振農用地、史跡の国指定といった開発行為に対する三重苦とも言える状況にあるが、地域住民の理解を得られる形のPR方法と環境整備についての方策は。</p> <p>(3) 今後も増えるであろう赤井官衙遺跡群より出土した埋蔵文化財の収蔵施設の1日も早い完成が望まれるが、現在までの計画に遅れはないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>2. 良質で安価な住宅地提供の早期実現を</p>	<p>持続可能なまちづくりを推進するためには若い世代の活躍がより重要となってくる。良質で安価な宅地を提供することは、市内企業に勤める方や移住希望者の定住の促進及び市内在住の親世帯からの独立を計画している若い世代の住居建設への希望が持てる大変重要な取組みであると思慮する。今後の本市の取組みについて以下に問う。</p> <p>(1) 本市に住みたいが手頃な土地がないという声に、どのように応えて行くのか。</p> <p>(2) 市街化区域の拡大検討に係るアンケートでは、回答者の8割以上が現状から宅地にしたいと回答しているが、良質で安価な宅地造成を目指す本市の政策と合致している。地権者の声を地元選出の県議とともに今まで以上に粘り強く関係機関に訴えるべきと思慮するがいかん。</p> <p>(3) 空き家バンクの存在は認知しているものの、魅力的な物件は皆無であると言わざるを得ない。住宅取得後の改修の必要性を予め踏まえた上で、何らかの支援が必要と感じるが、見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>阿部秀太</p>	<p>1. 安全・安心な学校給食への取組によるまちづくりについて</p>	<p>近年、食をめぐる技術の進歩はめざましく、遺伝子組み換えやゲノム編集、フードテックなどにより食料問題が解決できるのではという期待と、安全性は確かなのだろうかとの疑念の声が聞こえる。技術は日夜進歩し、問題はどんどん深化・複雑化している。</p> <p>加えて、今年4月に改正された遺伝子組換え表示制度は、消費者がしっかり勉強しないと理解できない内容・表記になった。折しも物価高騰や電気料金の値上げで、給食も影響を受けることは必至で、「安かろう悪かろう」にならないか懸念される。</p> <p>安全安心な学校給食に取り組むこと、それは子どもにやさしいまちづくりであり、延いては子育て世代へ向けた政策でもあると考えることから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 学校給食（保育所の副食も含む）をより安全安心なものとするための条例を制定するとともに、不安の残る食材をできるだけ使わないようにする独自の安全選定基準を設けてはいかがか。</p> <p>(2) より安心な学校給食には有機栽培による食材が適しているものと考えているが、東松島市では有機栽培があまり盛んではない。これを機に学校給食を柱に有機農業を振興することが必要と考えますがいかがか。</p> <p>(3) 給食センターの運営にあたって、有機農産物は形が揃わないなどの課題はあるが、センターの運営を柔軟にすることで有機農産物の扱いを増やせるものと考えている。また、数量の少ない保育所から始めることもできるのではと考えるがいかがか。</p> <p>(4) 遺伝子組み換え表示制度については、規制を強化された結果、逆に内容が把握できないことや、またゲノム編集食品は制度の対象にならないため、給食がどのようなものでできているのか、子どもたちが知らないで食べることとなる。子どもたちが大切に育てられ健やかに成長できるよう、根本的な取組みとして、ユニセフ「子どもにやさしいまちづくり実践自治体」に名乗りをあげてはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第11位</p> <p>大橋博之</p>	<p>1. 婚活プロジェクトを強化せよ</p>	<p>政府が掲げる「異次元の少子化対策」のポイントは「児童手当などの経済支援」「学童や病児保育を含めた幼児・保育サービスの拡充」「育児休業強化や働き方改革」である。本市でも先進的に子育て支援に取り組んでいることを評価させていただく。さらに婚活プロジェクトは本市でも7～8年前より取り組みをスタートし、現在でも東松島みらいとし機構への委託事業として継続的に予算化していることに大変感謝申し上げる。</p> <p>しかし、出生率を上げることが大前提であり、今後、少子化対策のメインテーマは出生率のアップになると考える。そのためには、若い世代の婚姻率の向上である。出会いの場を増やし、家族ともども独身の男女の意識改革を図るべきである。</p> <p>以下の点について、市長の所信を伺う。</p> <p>(1) 現在の婚活プロジェクトの事業規模の拡大に取り組むべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) マッチングアプリの活用についてはどのように考えているか。</p> <p>(3) 現在までの婚活プロジェクトの実績についてはどのような評価をしているか</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>大橋博之</p>	<p>2. シティプロモーションを確立せよ</p>	<p>産業建設常任委員会において「東松島ブランドの定義・確立について」行政視察も含め調査・研究を進めていく過程において、本市の総合計画を具現化するためのメインテーマとシティプロモーションを確立していくべきではないかとの結論に至った。</p> <p>人口減少社会が現実的になり、各自治体間の競争が厳しくなり、生き残りを懸けた戦略ビジョンが重要になると考える。</p> <p>そこで、以下の点について市長の所信を伺う。</p> <p>(1) 本市でも早急にシティプロモーションにおける目指す将来像を明確にするための戦略ビジョンを策定すべきと考えるが、取り組む可能性があるか。</p> <p>(2) 東松島市として、最大の財産の魅力について、どのように考えるか。</p> <p>(3) 東松島市のカラーは何色と考えるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第11位</p> <p>大橋博之</p>	<p>3. 野蒜海水浴場について問う</p>	<p>昨年12年ぶりに再開した野蒜海水浴場について、本市の観光分野の大きな財産として大変期待するところである。今年度以降、来場者数を増加させていくための方策が必要と考えるが、以下の点について、市長の所信を伺う。</p> <p>(1) 海の家運営方法と運営団体との調整は、どのようになっているか。</p> <p>(2) 昨年、釣り針ルアーによる事故があったと聞き及んでいるが、海釣り客との棲み分けは。また今年度の対策について。</p> <p>(3) 昨年整備したマリンスポーツの利用実績と今後の活用方法について問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>浅野直美</p>	<p>1. 女川原子力発電所再稼働に伴う核燃料税交付金と安全対策について</p>	<p>宮城県は市長の要望等を受け、核燃料税交付金について、配分先を立地自治体に加え、UPZ圏内である本市含む5市町に広げる方向で検討していることが報道されている。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 女川原子力発電所2号機の再稼働が来年2月に予定されているが、UPZ区域に人口の9割以上が入る本市としては、避難計画の策定や事故を想定した住民避難訓練等、原子力防災に継続して取り組めるよう、核燃料税交付金の交付を求めることは当然と考える。</p> <p>そこで、具体的な交付開始時期等を確認すべきであるが、今年4月から市長が女川原子力発電所UPZ5市町の代表幹事となり、5月30日に村井知事に核燃料税交付金の拡大に関する要望をすると聞いた。</p> <p>県の意向と方針について、確認をしているのか伺う。</p> <p>(2) 中国電力島根原発が立地する島根県では、30キロ圏内の周辺自治体である出雲市4%、安来市及び雲南市2%として交付金を配分している。</p> <p>宮城県内5市町の配分について市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 原子力発電所事故時の避難退域時検査場所である鷹来の森運動公園について、自家用車での避難が想定される。</p> <p>渋滞対策等の住民が迅速に検査場所を通過できるよう、県道大塩小野停車場線の整備を先の要望会で宮城県東部土木事務所長に現地で拡幅改良片側2車線化を強く要望した。</p> <p>来年2月の2号機再稼働前に着手することが重要と考えるが市長の見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>



氏 名	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>浅野直美</p>	<p>2. 本市の基幹産業への支援について</p>	<p>ウクライナ情勢やコロナ禍に伴う食料・エネルギー危機、インフレによる価格高騰等不安定な社会情勢が長引き、経済も大きな影響を受けている。本市の重要な基幹産業である農・漁業においても、危機的な状況が続いている。</p> <p>課題解決に向けての対策が必要であることから、以下について伺う。</p> <p>(1) 農業生産力の増大、生産性の向上を図るため、ほ場整備等の基盤整備が不可欠である。本市のほ場整備事業は県の平均に近づいていると聞いているが、進捗状況と今後の整備計画について伺う。</p> <p>(2) ウクライナ情勢に伴う化学肥料原料の国際価格の大幅上昇により、国内肥料価格が急騰するなど、農業経営が厳しい状況にある。また、穀物価格の上昇等により配合飼料価格が上昇し、畜産経営を圧迫している。さらに、燃料費の上昇により漁業も苦しい状況を強いられている。</p> <p>本市の重要な基幹産業である農・漁業への具体的な支援策が必要と考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>浅野直美</p>	<p>3. 子育て世帯への支援体制強化と虐待防止について</p>	<p>令和5年4月にこども家庭庁が創設され、こども基本法も施行された。本市では、後期基本計画に子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりを掲げ、他自治体にはない子育て環境の整備に努めている。</p> <p>誰も取り残さないSDGsの理念に則り、よりきめ細やかな支援体制を構築することが必要と考えることから、以下について伺う。</p> <p>(1) 少子化で子どもの数が減る一方で、児童相談所への相談件数は増加している。全国の昨年の相談通告数は統計開始以来最も多い20万件に及んでいる。</p> <p>本市においては令和4年度69件であり、うち心理的虐待が最も多くなっている。</p> <p>児童を守るために、児童虐待防止に注力すべきであるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 本市では子どもの生活に関する実態調査を行い、子ども及び保護者の生活状況を把握し分析していることは評価に値する。</p> <p>多岐に渡る調査の中で得られた課題等対策について伺う。</p> <p>(3) 児童虐待防止には、早期発見と対応が重要であるが、新聞報道によると本市の民生児童委員が定員に達していないことも課題としてあげられていた。</p> <p>本市の民生児童委員の充足率と定員不足解消対策について伺う。</p> <p>(4) 子育て世帯経済支援策として、学校給食費無償化の流れの中で、県内10市町村が無償化を行っている。</p> <p>本市は、現在1食あたり小学校で50円、中学校で60円支援し、来年度においても更に支援額を拡大していくと聞いている。</p> <p>来年度の学校給食費への支援と将来の無償化への可能性について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第13位</p> <p>小野 惠章</p>	<p>1. 自転車のヘルメット着用の啓発、浸透を図れ</p>	<p>改正道路交通法の施行により、本年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。5月11日に行われた本市の交通安全出動式においても、運動の重要項目となっていたが、市民の自転車への安全意識はまだ低いと感じる。</p> <p>また、令和5年3月31日までは、道路交通法により「保護者は、13歳未満の子供にヘルメットを被せるよう努めなければならない。」となっていたが、それもまた同様に子どもに対しての安全意識が不十分であると思料する。</p> <p>これを機に、安全意識啓発のため、時限的にヘルメット購入に対し、1,000円程度の助成を行うことで、自転車のヘルメット着用を浸透させていくべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第13位</p> <p>小野 惠章</p>	<p>2. 矢本駅周辺の振興策を問う</p>	<p>令和3年第4回定例会において、矢本駅周辺の地域活性化のため、上町東地区センターの駐車場利用について質問を行っている。そこで再度伺う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、飲食店は苦境に立たされ店じまいする店舗もあったが、以前の状態と言えないまでも徐々に賑わいが戻りつつあると感じる。矢本駅周辺の商店街の振興、利用者の利便性向上を図るため、上町東地区センター駐車場を有料化しての方策を図るべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>また、北浦アパートの老朽化に伴う跡地利用計画について早期に着手すべきと思慮するが如何か。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第13位</p> <p>小野 恵章</p>	<p>3. DX推進体制の構築の進捗状況はいかに</p>	<p>本市のDX推進を図る目的で、デジタル推進課を設置し市民の利便性向上、庁舎内の業務効率化等を図ろうと鋭意努力されているところと推察する。DXにおける大切な要件は、戦略とビジョンであり、現状の進捗状況を確認する。そこで、以下の点について市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 市民の利便性向上について</p> <p>(2) 庁舎内の業務化効率化について (特に本庁舎と鳴瀬庁舎等業務が分離していることに対しての効率化は急ぐべき)</p> <p>(3) 他の自治体では、タブレット端末を議会において導入している。これには、執行部との連携が不可欠である。今後のDX推進における体制づくりと、タブレット導入の考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>